

9月定例会

常任委員会 の活動

総務 常任委員会

町民の生命財産を守る

❶ 役場分団の今後は。

❶ 中山分団の編成を急ぐ。平成32年には役場分団として統合し、ポンプ車は本庁舎に移動する予定である。

総務課

返礼品の新聞報道

❶ ふるさと納税返礼品の見直しは。

❶ 農産物生産者から収入減になったとあって、一部品目を4～5割に戻した。次年度は国の通達通り寄付額の3割に戻す。報道内容については、町のホームページに詳細を掲載した。

企画課

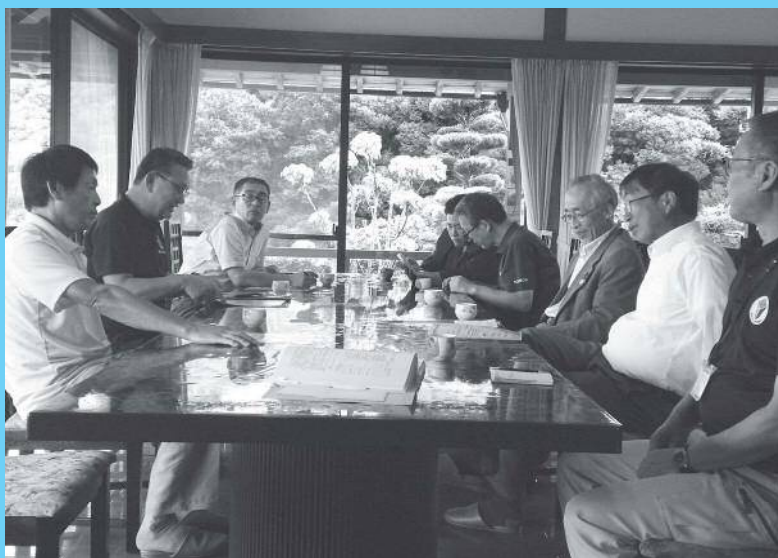
管理財産

❶ 7月からの新設課であるが管理財産は。

❶ 基本的に売買しないもの、普通財産を管理している。行政財産は各課で管理している。

財務課

地域自主組織を支援



友好館にて意見交換

9月12日から14日までの3日間、所管する各課から29年度決算を中心に説明を受け審議し、14日には現地視察を行った。川床土砂崩れ仮復旧の現場は路面土台に不安があり本復旧が待たれる。JRが建て替え予定の大山口駅舎はホームに屋根がなく積雪時が心配された。また、地域自主組織「楽しもなかやま」が指定管理者となった友好館の営業状況を聞き取りした。

風車の威力

❶ 売電収入が増加した要因は。

❶ 良い風が吹いたのもあるが、定期的に点検する事によって、風車の修理に係る停止期間を短縮できた。

企画課

状況が変わる徴収業務

❶ 住宅新築資金等貸付金の29年度完済件数は。

❶ 文書、電話、面談などの継続的な納付を促し住宅新築資金2件、住宅改修資金1件、住宅取得資金2件の5件である。徴収に課全体で取り組んでいる。

税務課

議会も注視の基金

❶ 基金の運用状況の公表は。

❶ 年内に町のホームページに掲載するよう準備中である。

会計課